

# 平成24年度全国高等学校総合体育大会

秩父宮杯 第63回全国高等学校対抗自転車競技選手権大会

第57回全国高等学校自転車道路競走中央大会

## 監督会議資料

2012 北信越かがやき総体



君は今希望とともに：緑の大地を駆けぬぐる

南魚沼市・弥彦村実行委員会

## トラック・レース ロード・レース共通事項

2012年（財）日本自転車競技連盟競技規則、および大会特別規則で実施する。なお、**2012年競技規則解説**を監督および競技者は熟読しておくこと。また、下記事項に示された各場所については「参加案内」に記載してあります。

（高体連ホームページ <http://www.hs-cycling.com/>）

### 1 ライセンスコントロール（選手・監督受付）

- （1）日 時 7月28日（土）11：50～12：50
- （2）場 所 南魚沼市民会館 1Fエントランス・スペース
- （3）要 領 各学校の監督は上記の場所・時間内に選手ライセンスを持参し、必要があれば申請用紙を提出する。なお、ライセンスの返却は、開会式終了後受付場所において行う。ライセンスは配付されたIDカードの裏側に入れ、トラック、ロード会場では見えるように携帯すること。

### 2 記録の配信

- （1）スタートリスト、リザルト等のコミュニケは記録速報板に掲示するので配付はしない。
- （2）リザルトは、大会モバイルサイトに随時アップする。アドレス等詳細は、プログラムに掲載する。

### 3 ヘルメット

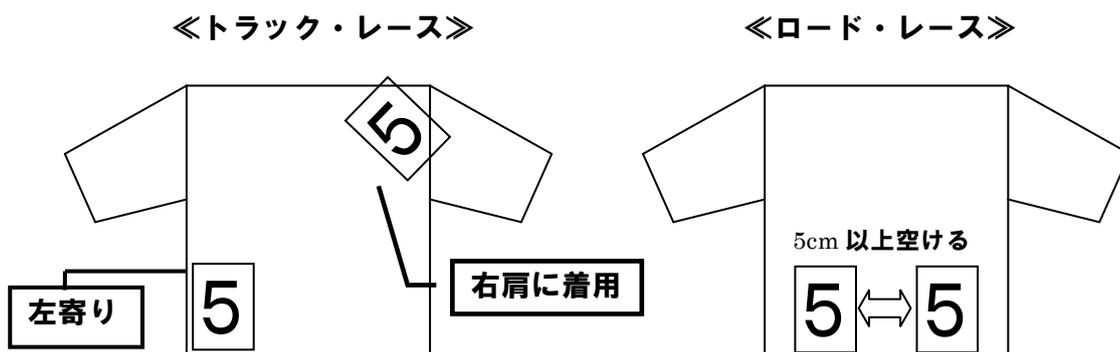
- （1）選手はJCF公認およびJKA認定（競輪用）ヘルメットを練習時も使用すること。公認シールが貼付されていない物、劣化、破損が確認される物等の使用は認めない。
- （2）公認エアロヘルメットは、200mTT、1kmTT、3kmIP、チーム・パーシュート、チーム・スプリント種目において競技時のみ使用を認める。

### 4 使用フレーム

- （1）ブリヂストン製PCPT=TTタイプについては使用を認めるので、申請を行わなくてよい。
- （2）身体形態上の理由により、規定にあわない自転車を使用する競技者は、ライセンスコントロール時に所定の用紙にて学校単位で提出する。

### 5 ゼッケン（ナンバーカード）

- （1）ボディ・ナンバーは下図を参考とし、1枚の場合は腰部中央に取り付ける。
- （2）ロード・レースは①ボディ・ナンバー②フレーム・プレート（ヘッドチューブ右側またはサドル下）③ヘルメット・ナンバーシール（左右）を使用する。



# 個人ロード・レース

## 1 招集・検車

- (1) 日時・場所 7月29日(日) 7:50~8:40 (招集・自転車検査テント)
- (2) 招集所で装備の確認と自転車の検査・チップ検査を受け、サイン・シートに記入する。

## 2 スタート時刻 9:00 (選手は15分前に集合)

## 3 スタート位置

前年度入賞者および選抜大会入賞者はシード選手として最前列に位置する。その後ろには開催地競技者とし、その他の競技者は先着順とする。

- 【シード選手】 西村大輝(東京:昭和第一学園) 馬渡伸弥(東京:昭和第一学園)  
吉田悠人(栃木:作新学院) 原井博人(福岡:祐誠高等学校)  
片桐善也(新潟:吉田高校)

## 4 補給所

以下の要領で各校からの選手への補給を認める。

- (1) 補給エリア 大月トンネル手前付近、登坂部の左側のみ認める。補給エリアは看板により明示する。
- (2) 補給員数 補給エリアの関係から各校最大2名、出場選手数までとする。なお、補給員は「補給員IDカード」をホルダーに入れること。
- (3) 補給周回 2周回目から7周回目までとする。
- (4) 補給員移動 補給所への移動は**専用のバスまたは各校の車両で移動をすること。各校の車両で移動する場合は8:30から交通規制が開始されるので、それまでに移動を完了すること。**移動バスは8:00にバス発着所(参加案内P.9参照)を出発し、7周回通過後にバス発着所に戻る。**各校の車両は、規制解除まで戻ることはできない。**

## 5 関門所での打ち切り

- (1) 関門所 スタート地点より7km付近(第1関門所)とスタート・フィニッシュ地点手前(第2関門所)の2カ所に関門所を設置する。
- (2) 打ち切り 各周回8位選手を含む集団から5分遅れた競技者を失格とする。ただし、レースの状況により、相当時間の遅れが見込まれる選手も同様とする。失格となった競技者はボディ・ナンバー、計測チップを外し、関門審判員に渡す。なお、最終周回においても打ち切りをおこなう。

## 6 機材サポートとインフォメーション

- (1) ニュートラル・カー(2台) ニュートラル・バイク(3台) インフォメーション・バイク(2台)を主催者で準備する。(後輪提供機材はシマノ社製10段)
- (2) 提供を受けた機材の返却  
競技中に車輪の提供を受けた競技者は、選手招集所・自転車検査所へフィニッシュ後直ちに返却し、各自の車輪と交換すること。

## 7 ギヤ比チェック

ゴールした選手は、「ふれ愛支援センター」脇、ギヤ比チェック所(参加案内P.8参照)において競技役員の誘導に従い、ギヤ比チェックを受けること。(上位20位程度)

## 8 計測チップの配付および返却

- (1) 配付日時 : 7月28日(土) 監督会議終了後
- (2) 場 所 : 南魚沼市民会館1階 多目的ホール(参加案内P.5参照)
- (3) 返却日時 : 7月29日(日) レース終了後直ちに返却すること。
- (4) 返却場所 : 選手招集所・自転車検査所
- (5) その他 : 計測チップを紛失・破損した場合は実費請求することもある。

## 9 表彰式

- (1) 開始予定時刻 : 13:00~
- (2) 会 場 : ふれ愛支援センター2F
- (3) 関係者の参加 表彰式は保護者・応援者の方も参加できます。

## 10 その他

- (1) 駐 車 場 選手・監督の車両は、ディスプレイ表「選手・監督駐車場」、大会関係車両、保護者ならびに一般観戦者の車両は魚野川右岸河川敷駐車場を利用すること。
- (2) 競技の観戦等 役員・係員の指示に従い、走路に進入・横断しないように各校より保護者等へ事前に周知徹底すること。
- (3) 熱中症対策等 関係者は常に熱中症対策に心がけて下さい。

# トラック・レース

## 1 予備登録選手への変更

予備登録選手への変更は所定の用紙で総務委員長に申請すること。

- (1) 受付日時 : 7月29日(日) 16:00~17:00
- (2) 場 所 : 弥彦競輪場 競技役員本部(参加案内招集テントP.16参照)

## 2 禁止事項

- (1) 走路保護のため、アップオイル等を体に塗ることを禁止する。
- (2) 弥彦競輪場内には『選手ピット設営禁止エリア』があります。

## 3 走路入退場方法

選手・監督の入場は「敢闘門」、退場は「3コーナー付近」からとする。

## 4 招集・自転車検査

- (1) 招集所は、フィールド内に設置し、出場および装備の確認並びに自転車検査を実施する。招集時間は各自の出走予定時刻の15分前までに完了する。自転車検査後にバンク外に出た場合は、再び検査を受けなければならない。
- (2) チーム・パーシュートおよびチーム・スプリントへ出場する学校は出走予定時刻の1時間前までに招集所に出走メンバーを届け出ること。

## 5 ヘルメット・カバー使用種目

4km速度競走, スクラッチ, ポイント・レース, ケイリン

## 6 スタート

### (1) スタート・マシン使用種目

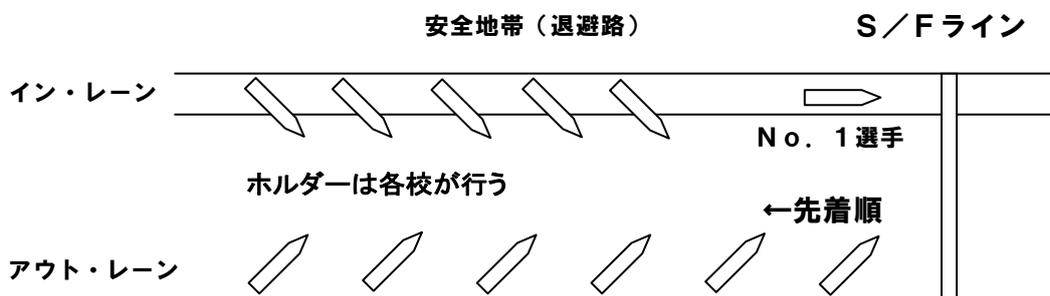
1 km TT, 3 km IP および チーム・パーシュート, チーム・スプリントの第一走者

### (2) ホルダー

スプリント1回戦以降およびスクラッチ, ポイント・レースのホルダーは各校で行い, その他の種目は競技役員が行う。ただし, ホルダーを準備できない場合は発走員に申し出る。

### (3) ポイント・レースおよびスクラッチ

スタート位置は下図を参考にする。選手は安全地帯(退避路)で完全に乗車し, 発走員の指示により先着順でスタート位置に着く。ただし, ヘルメット・カバーNo. 1の選手はイン・レーンの先頭からスタートする。1周回の競技外周回の後, 正式スタートする。



## 7 ケイリン (周回数・ペーサ離脱位置・速度)

ケイリンの周回数は5周回, 残り1.5周回のバックストレッチ付近でペーサは離脱する。なお, 離脱時の速度は男子 50km/h, 女子 45km/h とする。

## 8 パーシュート

予選はタイム・レースとして実施する。選手(チーム)が追い抜かれそうな場合は先頭交代を禁止し, 追い抜きが完了するまで体制を保ち完走する。追走した場合は失格とする。

## 9 各種目の勝ち上がり方法

### (1) スプリント

予選はタイム上位18名を勝ち上がりとして選出する。競技順は1回戦, 1回戦敗者復活戦, 1/8決勝, 1/8決勝敗者復活戦, 1/4決勝(以後5-8位決定戦以外2回戦制), 1/2決勝, 順位決定戦とする。

### (2) 4 km速度競走

各組予選(組数5)より各組上位4名を選出し, 準決勝(2組)を行う。準決勝各組上位5名で決勝戦(10名)を行う。

### (3) ポイント・レース

各組予選(組数3)より各組上位8名を選出し, 決勝戦(24名)を行う。

### (4) ケイリン

1回戦(組数8)より各組上位2名を2回戦に選出する。1回戦敗者により敗者復活戦(組数6)を行い, 各組上位2名を選出する。2回戦(組数4)より各組上位2名を選出し, 決勝戦(8名)を行う。

### (5) スクラッチ

予選(組数4)より各組上位5名を選出し, 決勝戦(20名)を行う。

## 10 ギア比チェック

ギア比チェック対象者は、上位入賞者およびランダムに選出して行う。競技終了後のギア比チェックはバンク内「ギア比チェック所」で行うため、対象者は速やかにチェックを受ける。

## 11 パーシュート種目，タイム・トライアル種目の指示場所

1コーナーと3コーナーから各校1名の指示を認める。

## 12 種目別表彰

トラック・レースの表彰は、バンク内表彰場（雨天時：場内雨天表彰場）において実施する。対象競技者は指定された時間の15分前までに登録してあるジャージ着用で入賞選手招集所に集合すること。

## 13 その他

- (1) チームパーシュートは4名のチームが全国高校総体出場権を獲得した以降にアクシデントによって4名での出走ができないチームは、総務委員長に申請し3名での出走許可を得ること。
- (2) ホーム・バック同時スタート種目では欠場があっても発走組は変更しない。しかし、多数ある場合はこの限りではない。